福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山産業フェア事業						事業コード	070102310101			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施策名	2 産官学金連携を通じた経営力の強化					施策コード	812			
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課				所属長	大江 秀也				
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	173	頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	商業・工業・農業等に関わる関係団体が一体となり、三池公園体育館及び周辺で本格的な物産展を開催し、情報交換、交流を通じて取引機会の拡大、交流産業育成と活性化を推進する。										
対象者	市内事業者				対象者数	3,842		単位あたりコスト	1.2		
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山産業フェア実行委員会										
事業概要 (箇条書き)	・企業・団体による製品の展示・技術PR・即売や農協・観光協会による地場産品・観光土産品販売、料理飲食業組合等による飲食グルメコーナー、各種イベント等が行われる「福知山産業フェア」の開催に対して補助金を支出する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	3,800			福知山産業フェア事業補助金						

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	3,900	3,900	3,800	0		
	② 補正予算	0	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0			
	次年度繰越	0	0				
小計(①~③)	3,900	3,900	3,800	0			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0		
	② 国支出金	1,950	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0	0		
	⑤ その他特財	1,950	3,900	3,800	0		
決算情報	① 流充用額	0	0				
	② 配当予算	3,900	3,900				
	③ 執行額	3,900	3,800				
	④ 執行率	100.0%	97.4%				
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.07 / 0.00	0.10 / 0.00	/	/		
	② 概算人件費	560	800				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,460	4,600					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山産業フェア事業基金繰入(地域振興基金)		基金繰入金	3,800	37	頁
		種類		実績金額		決算附属資料	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	来場者数	人	0 / 0	25000 / 25000	25000 / 25000	/ 25000	25000
	取引機会拡大に繋がった出展者	者	0 / 0	47 / 40	65 / 50	/ 50	50
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	出展企業数	者	0 / 0	89 / 90	89 / 100	/ 100	150
	単位あたりコスト		0.0	43.8	42.7		
	単位あたりコスト		/	1 /	/	/	福知山産業フェア事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	本事業のような規模の物産展の市内開催はあまりなく、本市の産業振興にとって必要性は高い。	☐ 高い ☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	実行委員会の主管である福知山商工会議所には本事業の開催実績もあり、多くの商工業関係団体との連携も強く、より多くの事業所出展が期待できるため、効率的である。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	平成30年度の事業棚卸しにより、来場者数だけでなく出店者の取引機会拡大が重要な成果と考え、「来場者数」と「取引機会拡大に繋がった出展者数」を成果指標とした。出展者のアンケート調査において、令和5年度は、89事業所中44事業所が拡大に繋がったと回答している。また、取引拡大に繋がっただけでなく、自社商品(サービス)の感想が直接聞けたことや、企業PRに繋がったなどの意見が多数あった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度、3年度は未開催、令和4年度は縮小開催であったが、令和5年度からコロナ禍前の規模により開催した。令和5年度における取引機会の拡大に繋がった事業者は、出展者89社のうち44社であり、半数の出展者が出展したことによる成果を実感していた。取引機会の拡大以外では、本フェアの集客力の高さを実感されており、企業PRができたことや自社商品(サービス)の感想を来場者から直接聞くことができたなどの意見も寄せられるなど、出展者の満足度は高い。		
改善策	成果目標達成のためにも、より多く来場いただけるようイベント広報等に努めるとともに、今後は出展者自身によるSNS等での自発的な発信や、来場者がより地元産業を知って、普段から応援するといった機運醸成も必要である。また、出展者の取引機会拡大も重視しつつ、地域の将来を担う子ども達が、地元産業を知り、将来の起業や地元就職に繋がるようなイベントになるよう、実行委員会や関連団体により一層働きかけていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山市産業支援事業					事業コード	070102310109					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	1 地域経済を支える産業の振興						
	施策名	2 産官学金連携を通じた経営力の強化				施策コード	812					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	大江 秀也						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	174	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市販路開拓支援事業補助金交付要綱、福知山市自社ECサイト構築支援事業補助金交付要綱											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 ()											
関連事業	NEXTふくちやま産業創造事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山産業支援センターを運営し、あらゆる産業分野において経営上の課題を抱える中小企業・小規模事業者・農業従事者等や起業を志す人の課題解決に向けた支援を行うことで地域経済の活性化を図る。また、市内で開発・生産された自社商品及びサービスを周知するため展示会等へのイベントに出展する際の経費や、ECサイトを構築し販売する経費の一部を補助することで、事業者の販路開拓を支援し産業の振興を図る。											
対象者	市内事業者	対象者数	3,842		単位あたりコスト	8.3						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()											
委託先・実施主体等	一般社団法人福知山産業支援機構(福知山産業支援センター)											
事業概要 (箇条書き)	【福知山産業支援センターの運営】センター長による相談業務により、事業者自身が気づいていない「強み」を見つけ出し、その強みを活かせるアイデアを提案する。 【福知山市販路開拓支援事業補助金】市内の小規模事業者が、市内において製造、加工、開発された製品及びサービス等を不特定多数の者に周知することを目的とした展示会等への出展及びECサイトの構築にかかる経費の一部を補助金として交付する。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	需用費	274	産業支援センター共益費									
	委託料	26,826	産業支援センター運營業務									
	負担金補助及び交付金	922	販路開拓支援事業補助金、自社ECサイト構築支援事業補助金									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	32,460	30,235	30,297	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①~③)	32,460	30,235	30,297	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	17,615	1,771	1,771	0			
	③ 府支出金	0	13,240	13,337	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	14,845	15,224	15,189	0			
決算情報	① 流充用額	△ 30	△ 9					
	② 配当予算	32,430	30,226					
	③ 執行額	27,049	28,022					
	④ 執行率	83.4%	92.7%					
人機工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.53 / 0.00	0.50 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	4,240	4,000					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	31,289	32,022						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山市産業支援事業(デジタル田園都市国家構想交付金)	種類	商工費国庫補助金	実績金額	1,771	17	頁
		福知山市産業支援事業(きょうと地域連携交付金)		商工費府補助金		11,474	26	
		福知山市産業支援事業基金繰入金(地域振興基金)		基金繰入金		14,057	37	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	販路拡大や売上up等につながった件数	件/年	126 / 100	127 / 100	135 / 100	/ 100	100
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	相談件数	件/月	80 / 60	78 / 60	77 / 60	/ 60	60
	単位あたりコスト		320.8	346.8	363.9		
	販路開拓支援事業補助金申請件数	件/年	0 / 0	3 / 25	4 / 12	/	福知山市産業支援事業
	単位あたりコスト		0.0	3864.1	7005.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	誰でも何度でも無料で相談することが可能で、お金をかけずにビジネスの流れを変える知恵出しができるため、市内の産業振興にとって必要性が高い。相談予約もほぼ埋まっておりニーズは高い。	☒ 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	本事業の委託先である「一般社団法人福知山産業支援機構」は、本事業を行うために市内商工団体により組織された法人であり、各関係機関との連携も密にとれるため効果的に事業が行える。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	相談者への後追い調査によって聞き取った成果やニーズを把握・反映することにより、相談機能や利用者の満足度の更なる向上に努めている。ITアドバイザーやデザインアドバイザーという専門家を配置することにより、相談者の困りごとに応えることができている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> アイデア出しによる成功事例や事業者同士のマッチング事例も着実に増えている。また、利用者への聞き取り調査においても高い満足度やセンターの必要性に関するコメントをいただいている。しかしながら、リピーターは増加傾向にあるが、新規相談者の割合が相対的に低くなっており、新規相談者の確保が求められる。 令和4年度に新規創設した自社ECサイト構築にかかる補助金の利用件数が1件しかなかったため、令和5年度から補助率を4分の1から2分の1に拡充し、商工会議所、商工会、産業支援センターと連携しながら積極的に広報を行った結果、3件の利用があった。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> センターの認知度を向上させることで新規相談者を獲得し、アイデア出しによる成果事例や事業者間のマッチング事例をさらに増やしていく。そのために、従来から実施している①ホームページやSNS等での活動事例の発信、②ITアドバイザー、デザインアドバイザーによるホームページ・デザイン相談会、③宣伝用チラシの配布を行うとともに、新たな試みである④創業前の相談者のトライアル出店機会の確保のための地域イベントへの参加などを通じて、産業支援センターの取組を積極的に情報発信する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	新型コロナウイルス対応緊急資金等特別支援事業						事業コード	070102310110		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興			
	施策名	2 産官学金連携を通じた経営力の強化					施策コード	812		
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課				所属長	大江 秀也			
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	174 頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和9年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市新型コロナウイルス対応緊急資金等特別支援事業要領									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 ()									
関連事業	-									

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて経営状況が悪化した中小企業者が利用する融資に対して、市の単独事業として利子補給を実施し、経営の継続、再生、安定を支援する。									
対象者	市内中小事業者			対象者数	3,822		単位あたりコスト	9.7		
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()									
委託先・実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	新型コロナウイルス感染症発生の影響を受け、業況の悪化により融資を受けた市内中小企業者に、初回から60回目までに支払った利子の1/2を補給する。 (1) 補助対象者 市内で事業を行う個人事業者、法人等 (2) 対象融資 ア 新型コロナウイルス対応緊急資金(京都府) イ 新型コロナウイルス対応に要する融資であって市長が認めるもの									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容					
	役員費	35			郵送料					
	負担金補助及び交付金	35,019			利子補給金					

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	18,013	30,507	30,274	0		
	② 補正予算	3,275	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0			
	次年度繰越	0	0				
小計(①~③)	21,288	30,507	30,274	0			
予算財源内訳	① 一般財源	23	41	0	0		
	② 国支出金	0	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0	0		
	⑤ その他特財	21,265	30,466	30,274	0		
決算情報	① 流充用額	2	4,552				
	② 配当予算	21,290	35,059				
	③ 執行額	20,274	35,054				
	④ 執行率	95.2%	99.99%				
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.38 / 0.00	0.06 / 0.55	/	/		
	② 概算人件費	3,040	2,020				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	23,314	37,074					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	新型コロナウイルス対応緊急資金等特別支援事業基金繰入 (新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給事業基金)		基金繰入金	17,853	41	頁
		種類		実績金額		決算附属資料	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	受給者の事業継続割合	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	利子補給金額	千円	14841 / 15500	20249 / 17990	35019 / 30466	/ 30274	30466
	単位あたりコスト		2.1	1.0	1.0		
	単位あたりコスト		/	5 /			

新型コロナウイルス対応緊急資金等特別支援事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い手元資金・運転資金が不足する市内事業者の資金調達に係る利子負担を軽減することができた。	☐ 高い ☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	令和2、3年度の受付分については地方創生臨時交付金を基金に積み立てたことで後年度の財源を確保した。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	長期的な利子補給を実施することで資金繰りの安定化を図っており、事業者の事業継続を支援できている。本制度を必要な事業者が利用できるように、市内の金融機関に幅広く周知を行い、金融機関からも事業者支援として評価の声を頂戴した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大は終息したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により手元資金・運転資金を必要とした事業者に対して、利子補給することにより、事業継続を支援することができている。 新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給事業基金繰入金令和6年度上半期をもってなくなる見込みのため、他の財源を確保する必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の新たな財源として、令和6年度においてはふるさと納税基金繰入金を充当する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	商工・産業政策事務管理事業					事業コード	070102320101					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	1 地域経済を支える産業の振興						
	施策名	2 産官学金連携を通じた経営力の強化				施策コード	812					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課			所属長	大江 秀也						
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	176	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	—											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務の事業 ☐ その他 ()											
関連事業	—											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山市の商工業振興及び産業の発展、各事業の円滑な推進、産業政策管理事務の適切な運営を図る。企業経営や産業振興などに関心を持ち、地域の活性化につながる講演会を開催することにより産業振興を図る。											
対象者	市民	対象者数	75,141	単位あたりコスト	0.1							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()											
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス株式会社、公立大学法人福知山公立大学											
事業概要 (箇条書き)	・福知山市の商工業振興及び産業の発展、各事業の円滑な推進のための事務。 ・福知山商工会議所及び福知山市商工会と共催し、経済及び経営に関する講演会の実施。 ・「花火大会のあり方を考える会」実施に係る事務。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	報償費	465	委員等謝礼									
	旅費	208	普通旅費									
	需用費	873	消耗品費、印刷製本費、									
	委託料	351	警備業務									
		2,894	郵送料、電信・電話料、複写機使用料、経済講演会負担金									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,196	3,081	3,098	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	3,196	3,081	3,098	0					
予算財源内訳	① 一般財源	3,177	3,062	3,085	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	19	19	13	0				
決算情報	① 流充用額	224	1,776						
	② 配当予算	3,420	4,857						
	③ 執行額	3,246	4,791						
	④ 執行率	94.9%	98.6%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.14 / 0.00	0.37 / 0.60	/	/				
	② 概算人件費	1,120	4,640						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,366	9,431							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地貸付収入(産業観光課)	種類	財産貸付収入	実績金額	19	30	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	定性的評価			/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	経済講演会の実施	回	1 / 2	1 / 2	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		3105.0	3246.0	2395.5		
	単位あたりコスト		/	7 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	必要な事務を適切に実施することにより、産業政策部各事業の運営に貢献した。	☐ 高い ☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	事務管理的経費として一括管理ができることで各事業の事務処理を円滑に行えることができた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	事務管理的経費として、各事業の円滑な運営に貢献した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	商工業振興及び産業振興を推進するための事務について、最小の経費で実施している。本事業により、その他の各事業が円滑に実施できている。【定性的評価】		
改善策	令和元年度から課内事務管理と部内事務管理を統合し実施している。今後も一括管理することで、より合理的かつ効率的な事務執行に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--